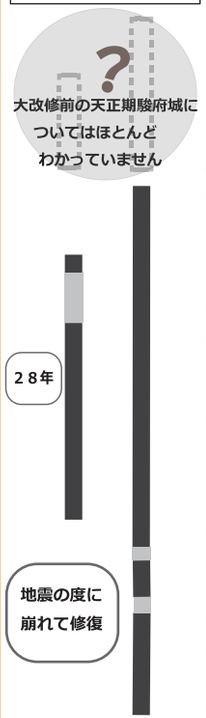
早わかり　駿府城

駿府城 - 築城から埋め立てまで -

天守・天守台の存続期間



略年表

天正 13(1585) 年	**7 月 徳川家康　築城開始　築城１回目**
天正 14(1586) 年	家康が浜松城から移る
天正 16(1588) 年	5 月 駿府城天守完成
天正 18(1590) 年	8 月家康が江戸へ 中村一氏（豊臣方武将）が城主になる
慶長 6 (1601) 年	内藤信成（徳川一門）が城主になる
慶長 12(1607) 年	**2 月 全国の大名に負担を命じる天下普請による大改修開始　築城２回目** 7 月 家康が移り住む、天守台完成 12 月 天守焼失 (建設途中か)
慶長 14(1609) 年	徳川頼宣 (家康の子) が城主になる
慶長 15(1610) 年	天守完成
元和 2 (1616) 年	**家康が駿府城で亡くなる**
寛永 元 (1624) 年	徳川忠長（家康の孫）が城主になる
寛永 9 (1632) 年	忠長が所領没収される これ以降**城主不在となり、幕府の直轄地として江戸から来た役人が管理**
寛永 12(1635) 年	**城外の火事が引火、天守・櫓等焼失**
寛永 15(1638) 年	御殿・櫓など再建する (**天守再建せず**)
宝永 4 (1707) 年	宝永地震により石垣・建物被害
宝永 5 (1708) 年	修復工事を行う
安政 元 (1854) 年	安政地震により城内の建物ほぼ全壊
安政 4 (1857) 年	修復工事を行う
明治 3 (1870) 年	城門など建物の払下げ、取壊し開始
明治 29(1896) 年	**陸軍歩兵連隊設置に伴い天守台取壊し・本丸堀埋立**

天守はなぜ江戸時代の初めになくなったのか

明治時代に廃城になるまで、火事や地震で被災する度に天守台や他の建物は再建されたのに対し、寛永 12（1635）年以降天守が再建されることはありませんでした。これは徳川家による江戸幕府の体制が盤石なものとなり、戦や権威のシンボルであった天守が必要ない、天下泰平の世になったことを示すと考えられています。

現在の駿府城

駿府城には三重の掘がありましたが、市街地化などによって埋め立てられ、幅が狭くなりました。現在では二ノ丸堀（中堀）より内側が駿府城公園となっており、宝暦年間（1751 ～ 1764）の修復記録に基づいて、東御門や巽櫓などが復元・公開されています。

関連施設案内

公園マップ





アクセス

〒420-0855
静岡市葵区駿府城公園 1-1
JR 静岡駅より　徒歩約 15 分
新静岡駅より　徒歩約 12 分
東名高速道路静岡 IC より
車で約 17 分
新東名高速道路新静岡 IC より
車で約 18 分
（Google マップによる）

施設利用案内

【料金】 発掘情報館 きゃっしる　入場無料

東御門・巽櫓	大人 200 円	小人 50 円	┐	3 施設共通券
坤櫓	大人 100 円	小人 50 円	├	大人 360 円
紅葉山庭園	大人 150 円	小人 50 円	┘	小人 120 円

【開館時間】 9 時～ 16 時 30 分（入場は 16 時まで）

【休館日】 発掘情報館 きゃっしる　年末年始（12/29 から 1 / 3 まで）
3 施設　月曜日（休日・祝日の場合は休館振替無しで営業）、年末年始

【お問い合わせ】歴史・発掘　静岡市歴史文化課　054-221-1085
その他　二の丸施設管理事務所　054-251-0016

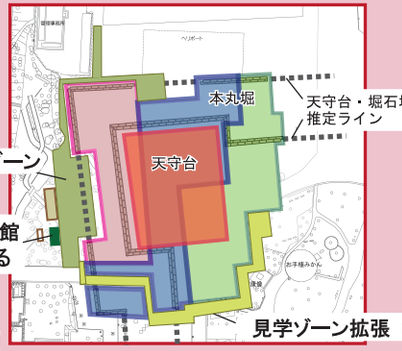
駿府城跡天守台 発掘調査 NAVI vol.3

すんぷじょうあとてんしゅだい
はっくつちょうさ

静岡市歴史文化課

駿府城跡天守台発掘調査の計画

駿府城公園再整備において、かつて駿府城の天守台があった跡地の整備方針決定に向けて、天守台の大きさや残存状況など学術的データを得るため、発掘調査を 2016 年 8 月に開始し、2020 年 2 月まで実施する計画です。はじめ 3 ヶ年で天守台と本丸堀、4 年目は今川期（室町時代）の遺構を発掘調査します。

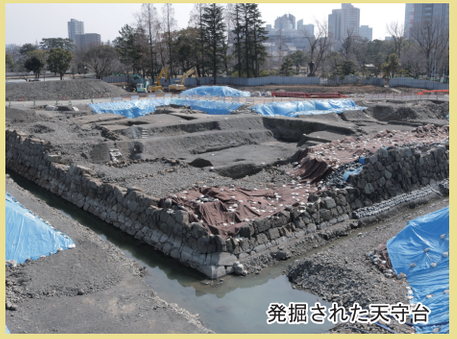




↑天守焼失後の天守台のイメージ
（東御門展示中の駿府城模型より）

調査範囲
2016 年度　2017 年度　2018 年度　2019 年度

これまでの発掘調査でわかったこと


発掘された天守台

日本一大きな天守台

天守台は底部で西辺約 68m× 北辺約 61m であることが確認できました。他城と比較してもかなり大きい（広い）と言えます。



金箔瓦（きんぱくがわら） 慶長期の築城以前、豊臣方の中村一氏（なかむらかずうじ）が使用したと考えられます。



井戸 籠城用と考えられる井戸を発見。駿府城が実戦的な城であることを物語ります。

見学ゾーン＆発掘情報館きゃっしるの見どころ

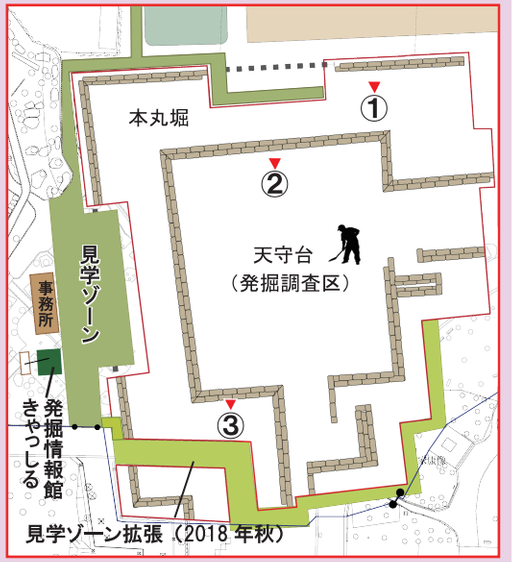
駿府城や天守台を身近に感じていただけるよう、発掘調査現場を公開、「見える化」しています。見学ゾーンでは発掘現場を間近に見られるほか、発掘情報館きゃっしるでは、駿府城と発掘調査の基本情報がまるわかり！調査速報もチェックできます。駿府城や天守台を体感できるイベントも開催します。

見どころ1　天守台北辺の石垣

石の間に小さな石を詰めて積む方法の石垣です。古い積み方で、家康による慶長の築城時のものだと考えられます。北辺では石垣内部の構造を観察することもできます。


①北辺石垣の様子


②石垣内部の様子



見どころ 2　天守台南辺の石垣

加工された石をすき間なく積む方法の石垣です。この石垣は比較的新しく、積み直されたものと考えられます。


③南辺石垣の様子

今年も体験発掘が
8 月 11 日(土)から始まるよ！
詳しくは HP を確認してね！


埋文ぼうや

イベントいろいろ

詳細は別途広報や HP でご案内します。ぜひご参加ください！

特別体験見学会　①2018.7/21(土)②12/1(土)

石垣普請工事の様子を再現した石の運搬、天守台の高さ体験など、特別な体験ができる見学会です。

【実施内容】
①石引き体験、石担ぎ体験、石負子体験、石割実演、発掘調査区域内見学
②石引き体験、天守台高さ体験、発掘調査区域内見学

駿府城タイムトラベルツアー　毎月第 2・4(土)(日)

①10:30 ～ 11:30 ／②13:00 ～ 14:00
駿府城想像 CG を見ながら駿府城公園を歩くガイド付ツアー (定員 30 人)。
問合先：駿府ウエイブ (℡054-204-6655)

発掘現場見学会　2019.2/23(土)

1 年間の調査成果を報告する現場見学会

最新情報は「発掘情報館きゃっしる別館」で検索→


埋文ガール

駿府城のことをもっと知りたい方へ！

ガイドブック『駿府城まるわかり』500 円
発掘調査現場にて販売中！